

木下 正議員

小学校のプール開放での  
取り組みは

**問** 3カ所ある市所有プールで水泳教室を行えば、保護者、教員の負担軽減、安全性も向上するのでは。

**答** 市所有プールで各学校のプール開放を受け入れる余地は少なく、送迎や使用料等の課題もある。地域や保護者の方と相談し、引き続き学校のプール開放の回数を決めていきたい。

避難場所等安全・安心の  
取り組みは

**問** 外国人の方にも使える外国語表記のメローねっとの配信を求める。

**答** まちの国際化を推進している本市の課題である情報の多言語化に対応したシステムの改修等により、必要な情報が効果的に伝わる方法を考えていきたい。

村井 勝彦 議員

浄化槽の維持管理に  
向けた取り組みは

**問** 公共下水道区域以外の区域における浄化槽の維持管理費が公共下水道使用料と比較して個人の負担する金額が割高となっているため、維持管理に係る補助金を創設する考えは。

**答** 汚水処理の方法により個人の負担に差が生じている現状を改善するため、合併処理浄化槽を対象として法定検査料を含む維持管理費に対しての補助金を平成32年度から創設していきたい。

**問** 浄化槽は法定検査が義務付けられているが、適正に検査は行われているか。

**答** 法定検査の受検率は検査の必要性などの理解不足から低調である。今後、法定検査を受検するよう、県とともに周知・啓発に取り組みしていきたい。

メローねっと

放課後児童クラブの  
一層の充実を

**問** 平成29年6月、更なる質の向上の重要性、必要性を質問した。平成30年6月、厚生労働大臣は質の向上も含め新計画を策定すると発表したが、市も新たな計画を作るべきでは。

**答** 現時点では、国の新たな計画の詳細が正式に示されていない。今後、その内容を注視していきたい。

大規模地震への対応に  
関する取り組みは

**問** 教育施設において計画に基づいた児童生徒・保護者・地域防災組織の合同防災訓練の状況は。

**答** 災害対応の基本方針は、子どもの安全を確保することであり、まずは子どもを確実に保護者に引き渡すことが重要である。保育所・幼稚園は毎月1回、小中学校は年に3〜6回防災訓練を実施している。



引き渡し訓練(袋井南小学校)